

◇教区各教化団体役員改選

新年度に入り、任期満了を迎えた教化団体で、役員改選が行われました。新たな役員は次の通り。

(敬称略)

○高岡教区寺院女性会連盟

委員長 六浦 千春 (伏木組不遠寺)

副委員長 高木場万里 (糸岡組乗恩寺)

小田二規子 (砺波組円満寺)

書記 村上伊希子 (水波組西養寺)

佐々木ひろ子 (関野組得雄寺)

会計 橋本教子 (氷見組善照寺)

坂本睦美 (氷見西組行忍寺)

監事 桃井良子 (新湊組白雲寺)

養藤 薫 (五位組西光寺)

大井春美 (若神組称名寺)

本庶登紀子 (川上組明専寺)

児玉恵子 (射水組妙安寺)

藪波順子 (氷見東組円教寺)

監査 関原恵子 (水波組関村寺)

石黒紀子 (川上組聴信寺)

※詳しくは、今後発行予定の実践運動推進計画書を

宗会議員選挙人名簿の縦覧について

中央選挙管理委員会において作製されました本年の宗会議員選挙人名簿(令和2年4月1日現在調査のもの)を4月30日付で各組組長事務所に送付いたしております。つきましては、下記事項についてご留意いただきますようご連絡いたします。

記

- 1, 選挙人名簿の縦覧期間は、令和3年5月15日より5月末日までの期間です。
- 2, 縦覧者(選挙人)は名簿の選挙人押印欄に押印しないこと。
※押印した選挙人名簿は無効となり、選挙に使用できなくなります。
- 3, 選挙人本人又は縦覧者が、選挙人名簿に脱落又は誤記があると認めるときは、訂正の申し立てをすることができます。

※特に令和2年4月1日時点で既に死亡されている方が記載されている場合は削除の必要がありますのでご注意ください。

※改姓・改名、所属寺変更、転入、転出については、令和2年4月1日時点でまだ手続が完了していないものは、訂正の対象とはなりません。また、令和2年4月1日の時点で成人に達していない方も名簿に登載していません。

上記のことにご留意いただき、名簿に脱落又は誤記があると認めるときは、縦覧期間内(5月15日から5月末日まで)に各組組長事務所までご連絡下さい。

以上

清覧ください。

◆教区のつどいが開催される （仏教青年会）

三月二十四日（水）午後六時半より、教区仏教青年会が教区のつどいを開催した。テーマは「お寺と若者」二〇二一（更なる仏青活動活性化に向けて）で、青年僧侶が自身の友達や門信徒を連れて「若者（教区）のつどい」に参加するという目的のもと開催。今回で四回目となり、対談と意見交換を行い9名の参加があった。これはコロナウイルスの感染拡大予防をしながらの開催のため人数を絞った形となったためである。



初めに福田慶隆さん（寺族青年会会長）と公文名智さん（仏教青年会会長）の対談を行った。対談では、公文名さんがこれからの仏青活動に對しての思いとともに「コロナウイルスが猛威を振るう中、行事の中止は簡単だが何らかの形で開催を模索していくことが大事」と述べられた。続いて福田さんが、「福祉作業所にマスクの配布を行い、フリーペーパーを作成し門信徒や関係者に配布した」と寺青が取り組んできたことについて事例を交えて今年度行った活動の報告をされた。そしてこれからの仏青活動に必要なことについては、「特に門信徒への活動参加の呼びかけについては大事であるが、初めは友人から誘っていく方が良いのでは」という意見を述べ、その意見に對して参加者から『仏青報恩講』の開催や『教区内バスツアー』等いろいろな行事の提案が出された。また、今

後の仏青活動についてできることを少しでも増やしていくことと、行事の企画や若者に興味を持ってもらう内容が大事という意見もあったが、終始和やかな雰囲気の中でのつどいであった。

また、この企画は若い方に寺院の雰囲気を感じてもらおうと教区内寺院を会場にし、一定の成果が出始めている。そのような中、十月二十三日（土）に本願寺において全国真宗青年のつどいが開かれ、教区においても一人でも多くの若者に参加のご縁を繋げていけたらと考えている。

▽告知

「新型コロナウイルス感染症の流行に伴う寺院活動に関するアンケート」へのご協力のお願

この度、新型コロナウイルス感染症の拡大による寺院活動への影響について調査し、教区活動の立案に資するため、組事務所を通じて「新型コロナウイルス感染症の流行に伴う寺院活動に関するアンケート」をご依頼しております。ご回答いただきましたアンケートは組事務所で開催の期日までに組事務所にお届けいただきますようお願い申し上げます。

得度習礼講習会・考査のお知らせ

本年度高岡教区における得度講習会・考査を下記のとおり開催いたします。

「得度願」提出予定の方には講習会・考査受講が、原則、必須となっておりますので、ご準備よろしくお願いたします。

尚、申込書類は教務所にございます。
40日前（7月14日）までに申し込みが必要です。

記

1. 期日 8月23日(月)～25日(水)
※（講習会2日・考査1日）
2. 会場 福光教堂
（南砺市福光974-2）
3. 定員 6名（定員に達し次第締切）

以上

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

『北陸同朋運動推進協議会』第十回総会・研修会報告

“北陸に被差別部落はない”、北陸に蔓延するこの事実に反する声が、どれだけ部落差別に喘ぐ人々の力を奪い、あきらめを強いてきただろう。宗祖の教えを標榜する者が、宗祖と教えに集う人々の期待をどれだけ裏切ってきたことか。宗祖没後750年を迎え、教団の部落差別の歴史に思いをはせると同時に、被差別者の宗祖への期待に学び、願いに応えていくことが真宗再生への道と信ずる。教団の同朋運動の火をかき消そうという動きが強まる今こそ、さらなる運動の広まりと深まりを願い、差別・被差別からの解放をめざす全ての人々との連帯を、この北陸から呼びかけ、集おう。

(北陸同朋運動推進協議会結成の呼びかけ)
浄土真宗本願寺派「北陸同朋運動推進協議会」(略称・北陸同推)の第十回総会・研修会が、四月二十日、本願寺富山別院本堂にて開催されました。

北陸同推は、同朋運動を推進し、部落差別をはじめとしたあらゆる差別解消のため必要な活動を協議し、実践することを目的として二〇一二年に結成されました。現在は会員相互の研鑽と経験交流にとどまらず、全国の諸団体(一般財団法人 同和教育振興会)、『同朋運動を続ける会』、『近畿同朋運動推進協議会』、『九州・沖縄同朋運動推進協議会』、『東日本同朋運動推進協議会』、『中四国同朋運動推進協議会』とも連携し、取り組みを進めています。

研修会では、岩本孝樹さん(同和教育振興会評議員)より「同朋運動70年のあゆみとこれから」と題して講演がありました。教団における同朋運動は、一九五〇年の「浄土真宗本願寺派同朋会」の設立に始まり、講演では、特に同朋運動四〇周年(一九九〇年)から七〇周年(二〇二〇年)の節目の教団状況を踏まえた同朋運動の歴史と今日的課題について述べられました。かつて同朋運動は「①信心に基づいて、②特に同和問題に強力に取り組むことによって、③同朋教団を確立する」運動という「同朋運動の三要素」論としてまとめられていたが、現在は「①念仏者の運動、②すべての差別に取り組む運動、③同朋教団を創りあ

げていく運動」と読み換えられること。教団における差別の定義の転換は、一九九七年の『差別事件 糾明の方途』にある(『差別事件とは』人間として、また、仏教を人生の拠りどころとする者として、そして親鸞聖人のお示しくださった「御同朋」社会をめざして生きる私たち念仏者にとって、許すことのできない、人間存在そのものを否定する行為である)という文言にあり、ここに初めて「仏教、親鸞聖人の願いに反する行為が差別であり、差別は教学の課題である」と位置づけられたこと。差別の定義は時代につれて変遷する。だからこそ、差別の問題は学び続けなければならないこと等々。講演の中で特に強く印象に残ったのは、「竹が節を作りながら成長していくように、〇周年を単なる節目で終わらせるのではなく、運動の成果を確認し、その時々課題の共有をはかること。節目は新たな始まりである」との提言でした。

同朋運動は、部落差別を受けてきた門徒や僧侶などが、差別からの解放を求めて立ち上がったことに始まり、「非同朋教団」であった教団のありようを憂い、特に部落差別問題への取り組みを通じて、差別・被差別からの解放、真の意味での同朋教団の実現をめざしてきました。同朋運動は、差別に対する教団の加害責任を明らかにし、二度と差別をしない教団になるための運動です。同時に、宗祖の教えに生きることを標榜する一人ひとりの自立と連帯によって担う運動です。

二〇一二年、「基幹運動」から「実践運動」への名称変更を機に、教団から「同朋運動」の火が消えました。同朋運動提唱から七〇年が過ぎましたが、部落差別の現実から問われた課題はいまだ克服されていません。同朋運動の役割は終わっていないのです。

明年二〇二二年、北陸同推は結成十周年を迎えます。これまでの運動の成果と課題を検証し、同朋運動がさらなる広まりと深まりをもって継続されていくことを願って、この北陸の地で、また全国の諸団体との連帯の中で、同朋運動を推進していきたいと存じます。

北陸同朋運動推進協議会では僧侶、門徒を問わず、随時会員を募集しております。本会の趣旨をご理解いただき、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

【北陸同朋運動推進協議会副代表 伏木組 要願寺 林 史樹】

◇これからの日程（5/14～6/29）◇

5月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	
22		寺青総会
24		寺女役員会
		ヤスクニ問題専門委員会
25		仏婦広報専門委員会
6月		
1		ビハーラ総会
2		子ども若者ご縁づくり委員会
4		少年連盟総会
11		講社総会
14	常例法座	
15		仏婦・寺女合同執行部会
18		非戦・平和学習会
25		まことの保育研修会
29	教区委員研修会	

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前5:35～5:45

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎5/29（土）：中西 智海氏

（本願寺派布教使・高岡教区氷見組西光寺元住職）

「生命尊し（5）」

◎6/5（土）：薮 正永氏

（本願寺派布教使・京都教区下東組西方寺住職）

「ご縁を慶ぶ」

◎6/12（土）：薮 正永氏

（本願寺派布教使・京都教区下東組西方寺住職）

「最期のお取次ぎ」

□6/13（日）：安居美可子氏

（高岡教区伏木組禅龍寺）

◎6/19（土）：薮 正永氏

（本願寺派布教使・京都教区下東組西方寺住職）

「地域のお寺として」

◎6/26（土）：薮 正永氏

（本願寺派布教使・京都教区下東組西方寺住職）

「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に思うこと」

□6/27（日）：圓山 望氏

（高岡教区氷見組法順寺）

☆教学研究室からのお知らせ☆

『日本大蔵経』全100巻（電子版）閲覧について

教学研究室において、『日本大蔵経』（電子版）を購入いたしました。教務所にて保管しておりますので、閲覧が可能です。

閲覧の際はご自身のノートパソコンをお持ちいただき、教務所にて閲覧ください。なお、DVD-ROMの読み込みできるパソコンが必要です。持ち出しは厳禁いたします。

以上

【西本願寺高岡会館6月の常例法座】

ご講師： **村井敬成氏**

（富山教区）

ご講題：『 **未 定** 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。